



2026年3月期 第3四半期 決算説明資料

東証STANDARD
(6864)

株式会社エヌエフホールディングス

1. 2026年3月期 第3四半期 決算概要

● 連結損益



(単位：百万円)		2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	前年同期比 増減率(%)
売上高		6,116	5,916	▲3.3
営業利益		243	359	+47.7
経常利益		272	381	+39.9
	特別損益	36	▲565	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益		391	▲86	-
1株当たり四半期純利益(円・銭)		55.78	▲12.34	-

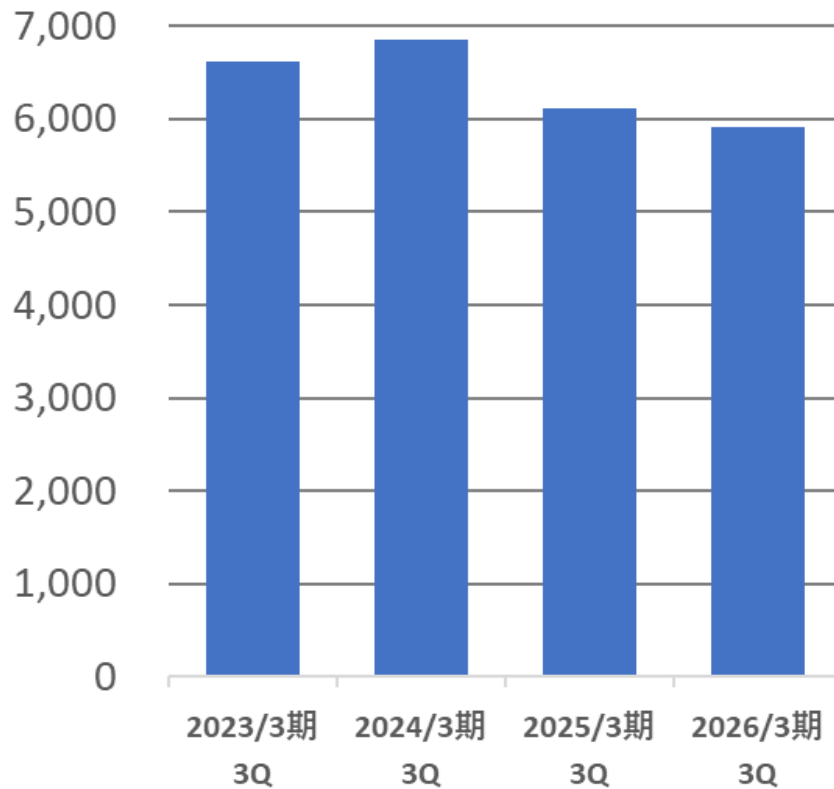
- ◆ 2026年3月期第3四半期は、各事業分野における技術の相互融合加速や、機能デバイス、産業用電源システム等注力分野への開発、営業強化に加え、調達・生産能力強靱化等の取組み強化により、売上は、前年同期比減収となりましたが、営業利益、経常利益は前年同期比増加となりました。
- ◆ 第2四半期の事業整理損（特別損失）計上も含め、親会社株主に帰属する四半期純利益はマイナスとなりました。なお、上記損失処理は棚卸資産の評価損及び固定資産の減損処理であり、キャッシュフローへの影響はありません。

売上高・経常利益の推移



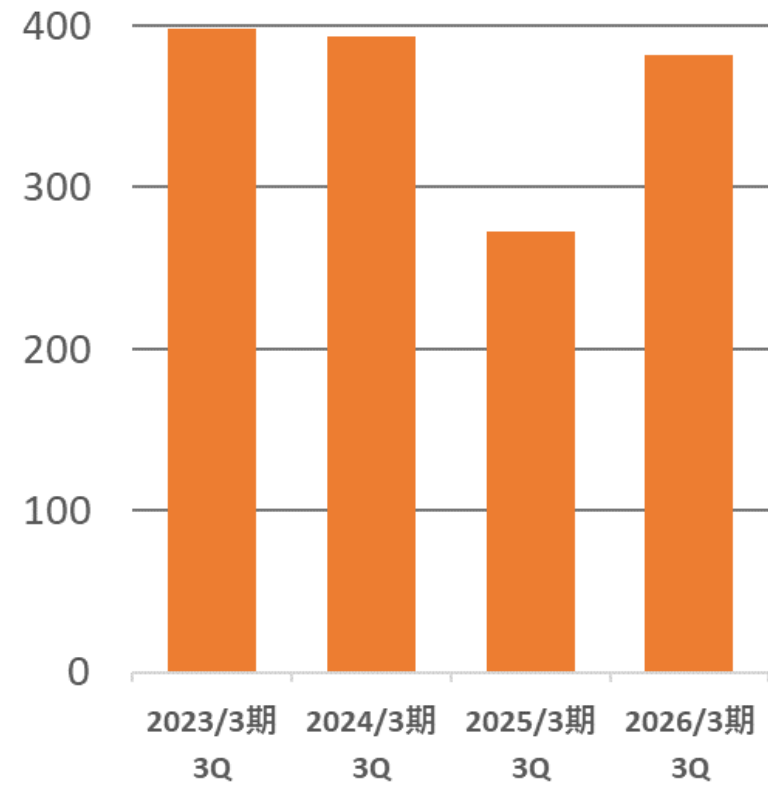
(単位：百万円)

売上高



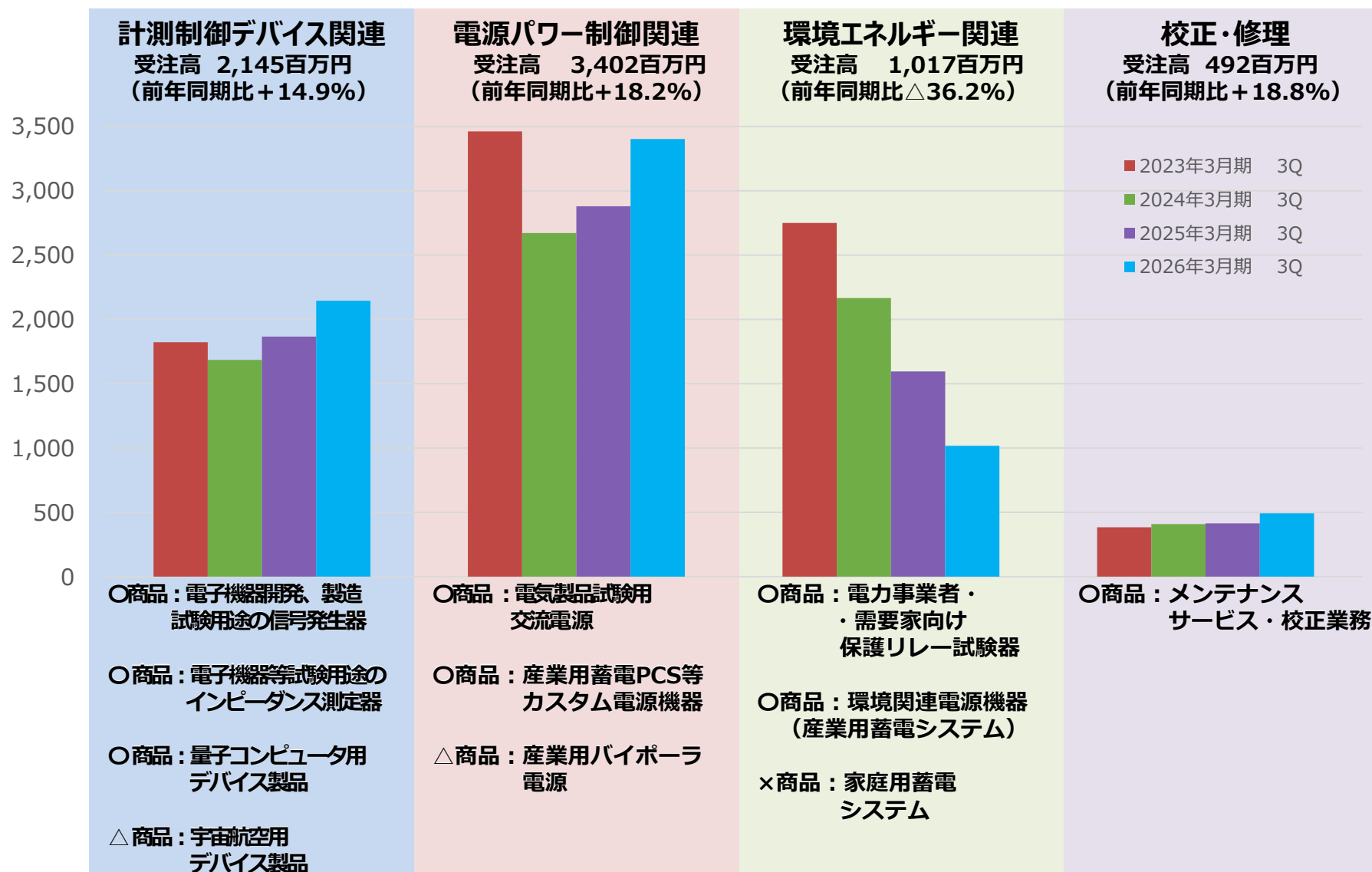
(単位：百万円)

経常利益



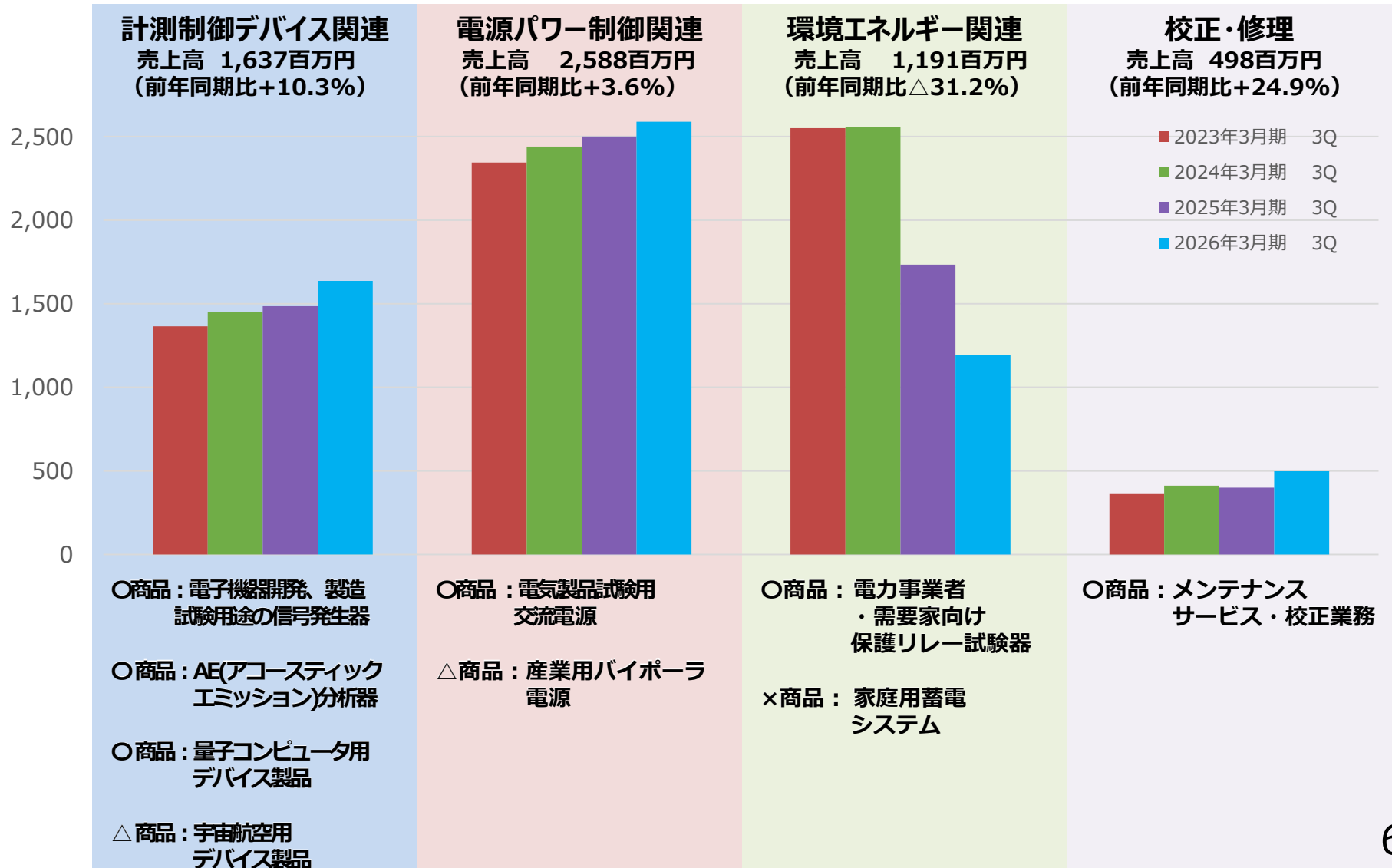
事業分野別受注高

(単位：百万円)



事業分野別売上高

(単位：百万円)

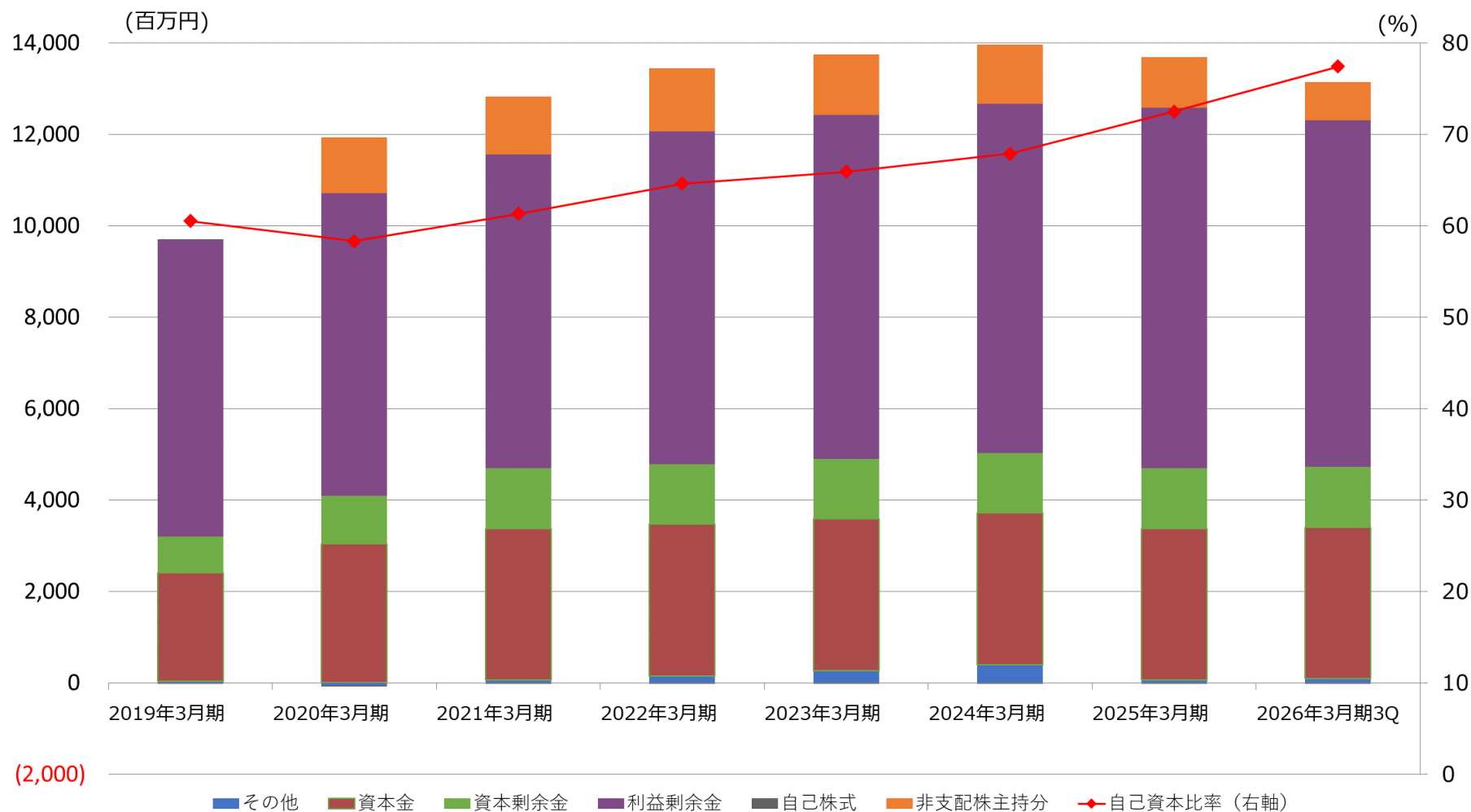


● 連結貸借対照表



(単位：百万円)		2025年3月期末	2026年3月期 3Q末	増減
	現預金	5,445	5,123	△321
	売上債権	3,527	2,936	△591
	たな卸資産	3,808	3,224	△583
	その他	97	196	+98
流動資産 計		12,879	11,481	△1,397
固定資産 計		4,442	4,379	△62
資産合計		17,321	15,861	△1,460
	仕入債務	728	867	+139
	短期借入金・社債	1,111	600	△511
	その他	1,334	788	△545
流動負債 計		3,174	2,256	△917
	長期借入金・社債	300	300	0
	その他	180	182	+1
固定負債 計		480	482	+1
負債合計		3,654	2,738	△915
純資産合計		13,666	13,122	△544
自己資本比率		72.5%	77.4%	+4.9%

自己資本の推移



◆ 2026年3月期3Q末時点で、自己資本12,283百万円(除く非支配株主持分)、自己資本比率77.4%と、引き続き財務の健全性確保に努めてまいります。

2. 2026年3月期 事業展開

● VISION



Leading Company for Measurement & Control

人々に共感を持たれる新しい価値を創造し提供することにより、
社会からその存在を認められ期待される “計測・制御のリーディングカンパニー”

●Solid & Organic Blocグループ会社

エヌエフグループ会社は、

個々の力を **Solid** な固体質で結集し、その事業展開を**Organic Bloc**として
有機的に協調し、お客様に新しい価値を創造し提供します。

●お客様と社会の課題を解決する、新価値創造グループ会社

エヌエフグループ会社は、

グローバルな持続可能目標への貢献と科学技術発展への貢献を礎に事業成長し、
お客様に新しい価値を創造し提供します。

● エヌエフグループの市場



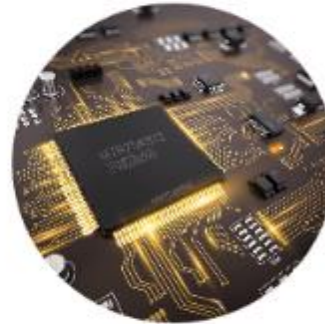
- ◆ エヌエフの製品は、産業機器、電機、自動車、社会インフラ（電力・鉄道など）から航空・宇宙に至る幅広い市場で活用されています。



電力



クリーンエネルギー



エレクトロニクス製品



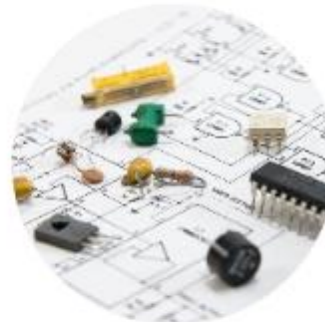
自動車



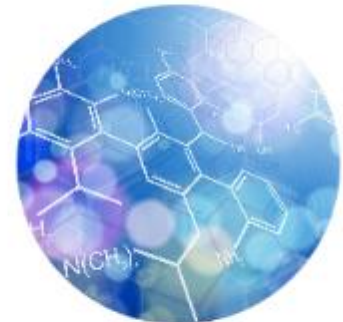
鉄道



航空・宇宙



電子部品



研究

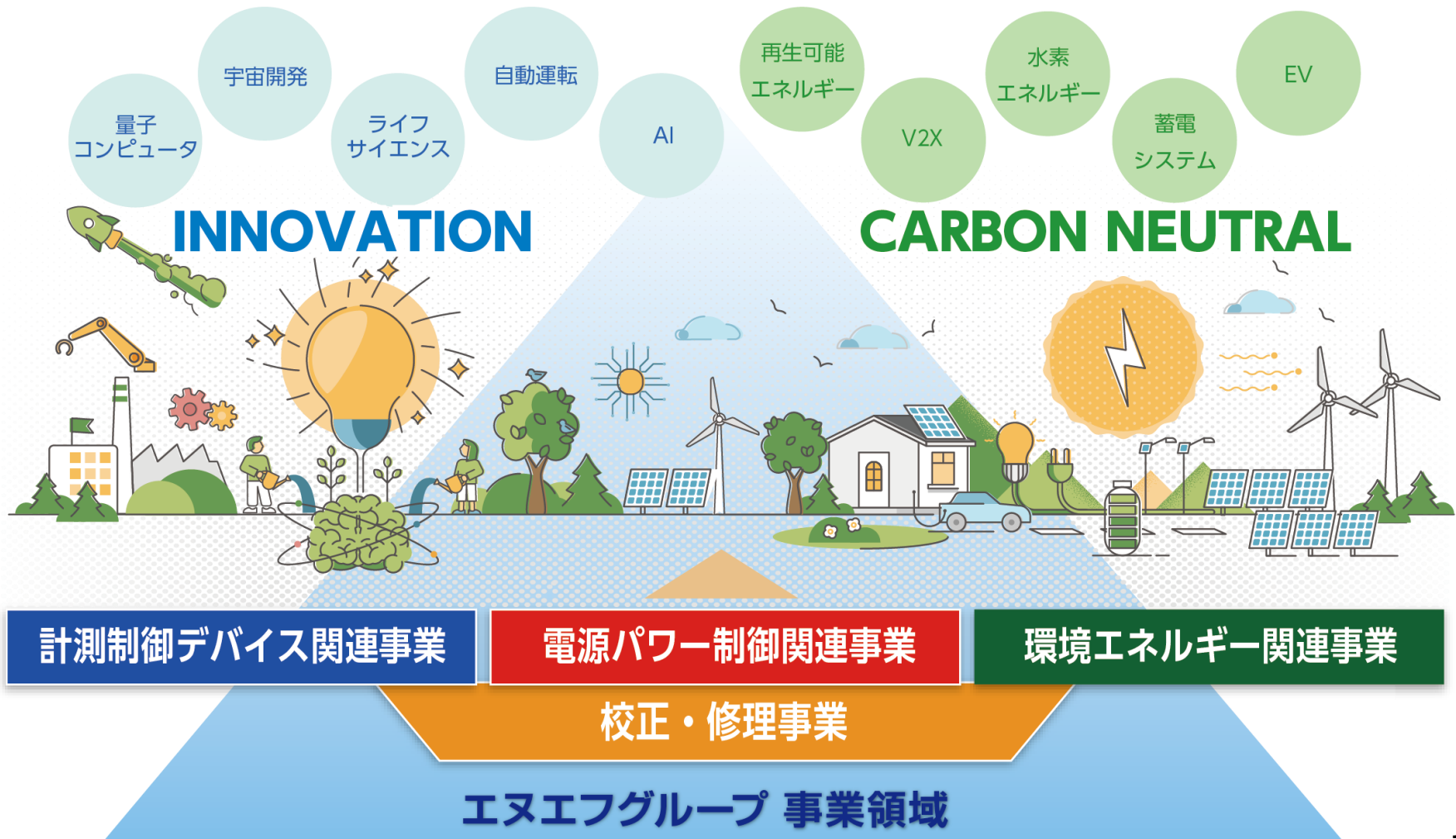
● 主要事業分野



● 豊かな未来への取組み



＝ 計測・制御技術で、未来を拓く新しい価値を創造します ＝



注力商品

計測制御デバイス関連



◆ 様々な分野における研究開発や製造工程における試験、検査用途など、多様な商品の拡販を進め、お客さまの幅広いニーズにお応えしてまいります。

マルチファンクションジェネレータ



- この装置が出力する任意の波形や周波数を持った信号を電子機器などに入力し、正しく作動するかテストすることなどに使われます。
- 通称「WF」と呼ばれるNFグループの主力商品です。

AEアナライザ AE9702S



- 材料が変形や破壊する際に放出するひずみエネルギー（弾性波）を検出する技術「AE（アコースティック エミッション）法」を活用した装置です。
- ベアリング、切削工具や金型など、生産設備の劣化モニタリング用途に加え、破壊過程の解明による予知保全への応用にも期待されています。

ロックインアンプ



- 非常に微弱な信号を高精度で検出・測定するための電子測定器です。ノイズの中から目的の信号だけを取り出すために使われます。
- 光検出などの光学実験や、心電図や脳波などの非常に小さい電気信号（生体信号）の高精度測定など多様な分野に用いられています。
- 最近では、分析器や検出器への組み込みニーズが高まり、モジュールタイプ、小型組み込みデバイスが好調です。

注力商品

電源パワー制御関連

環境エネルギー関連



◆ 幅広い用途に対応可能な各種電源や、電力事業者・需要家向け「保護リレー試験器」も、エヌエフの注力商品として拡販に努めています。

プログラマブル交流電源 DP020AS



- 任意の電圧・周波数・波形を設定して供給できる交流電源装置です。
- 電圧の瞬間的な低下や遮断、過電圧などの異常状態を模擬したり、ノイズを含んだ歪んだ波形や高調波成分を含んだ波形を出力して、家電や電子機器の挙動テストなどに使用します。
- エヌエフ電源の特長である低ひずみ・高安定性・低ノイズなどを継承し、多様化する評価・試験ニーズに対応可能です。

バイポーラ電源 HSAシリーズ/BPシリーズ



- 出力電圧がプラス（+）とマイナス（-）の両極性を自由に切り替えて供給できる電源装置です。例えば、モーターの正転・逆転を滑らかに制御したり、圧電素子や電磁アクチュエータに正・負電圧を交互に印加したりできます。
- HSAシリーズは、コンデンサ、コイルなどの電子部品から圧電素子や磁性材料、バイオ関連まで、高速・高電圧ニーズに対応しています。
- BPシリーズ（～100A）は、EV車載電装品向けの大電流に適しています。

保護リレー試験機 RX47022



- 電力系統の安全装置として幅広く設置されている「保護リレー」が正しく動作するかを検証・試験する装置です。
- 小型、軽量に加え、実作業に配慮した設計で、保守現場の作業性向上を追求しました。
- 電力供給側だけでなく、商業施設やオフィスビル、工場などの需要家側の試験にも適しています。

● 新規市場・新規顧客の開拓

◆ エフエフは、脱炭素化・次世代電力ネットワーク構築に貢献する様々な商品を取り揃えております。

産業用蓄電システム

工場や店舗などで使用する大容量電力に、太陽光や水素などの電力源を組み合わせる際、安全かつ効率的な電力制御を行う装置です。



産業用蓄電システム

水 素

水素製造用の水電解装置に供給する電力を発生させる装置です。産業用蓄電システムとともに、再エネ技術の社会実装に寄与する商品です。



水素製造用直流電源

再生可能エネルギー

太陽光など再エネ由来電力を、電力系統や自家消費利用のために必要な電力の高効率変換や電圧の整定を行ったり、再エネ由来電力の特性を再現して各種試験を行う装置です。

電力系統

電力系統に再エネ関連など様々な電力源が連系される昨今において電力系統の安全性を確保するための各種試験装置です。



蓄電池模擬電源



PV模擬電源



実証実験用
コンバータ



系統連系インバータ



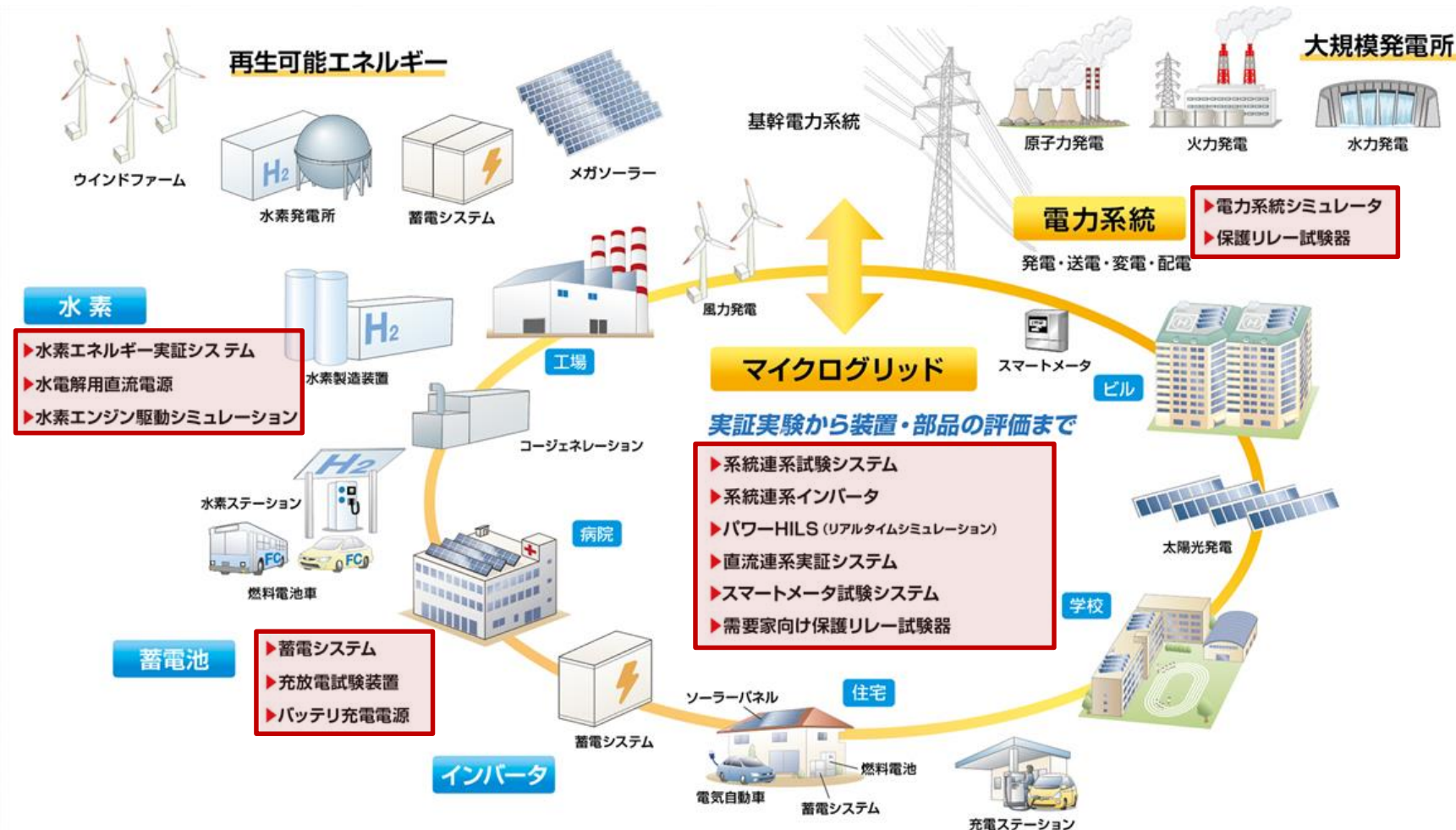
系統連系試験システム



保護リレー試験器

新規市場・新規顧客の開拓

- ◆ 脱炭素化ビジネスにおいて、エヌエフは地方自治体や企業と連携し、次世代電力ネットワーク構築の研究開発・実証実験・社会実装をサポートしています。



新規市場・新規顧客の開拓



- ◆ エヌエフは、2025年11月より、山口県において、水素の製造から利用までのサプライチェーン構築を実証する環境省委託事業に参加しています。
- ◆ エヌエフ山口宮野工場は、山口市域における水素サプライチェーンの拠点として、産業用蓄電システムを始め、再エネ利用に不可欠の高効率な電力変換技術をこの実証事業に提供します。これにより、山口宮野工場は、日本全国への脱炭素化/水素ビジネスの情報発信拠点としての機能も果たしていきます。

【山口宮野工場 社屋】



【山口宮野工場水素サプライチェーンイメージ】

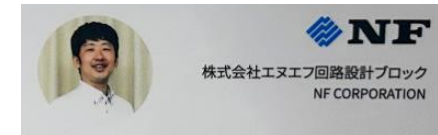
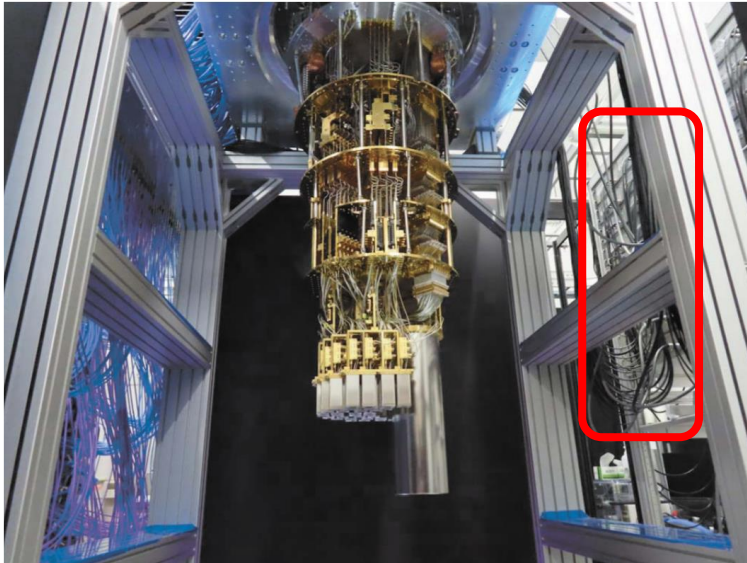


※山口県産業技術センター公表資料より一部抜粋、加工して当社にて作成

新規市場・新規顧客の開拓



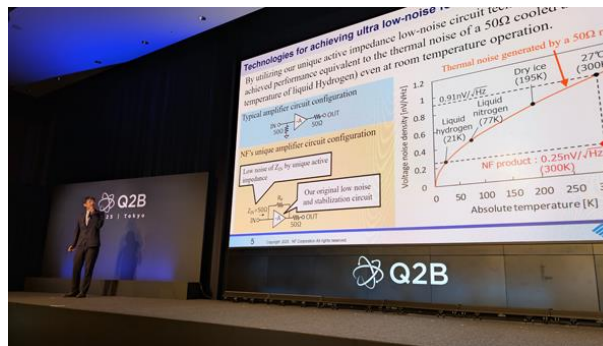
- ◆ 量子コンピュータなど、最先端技術分野において、エヌエフ製品の活用が進んでおり、更なる事業の拡大を推進してまいります。



関西万博のQIQBによる量子コンピューター企画展で、エヌエフの電源が展示されました

報道陣に公開された256量子ビット超伝導量子コンピューター=22日、埼玉県和光市の理研
2025年4月22日電波新聞記事より

2025年のQ2Bでは「量子コンピューティングのための低ノイズ技術」について、当社の講演が行われました。



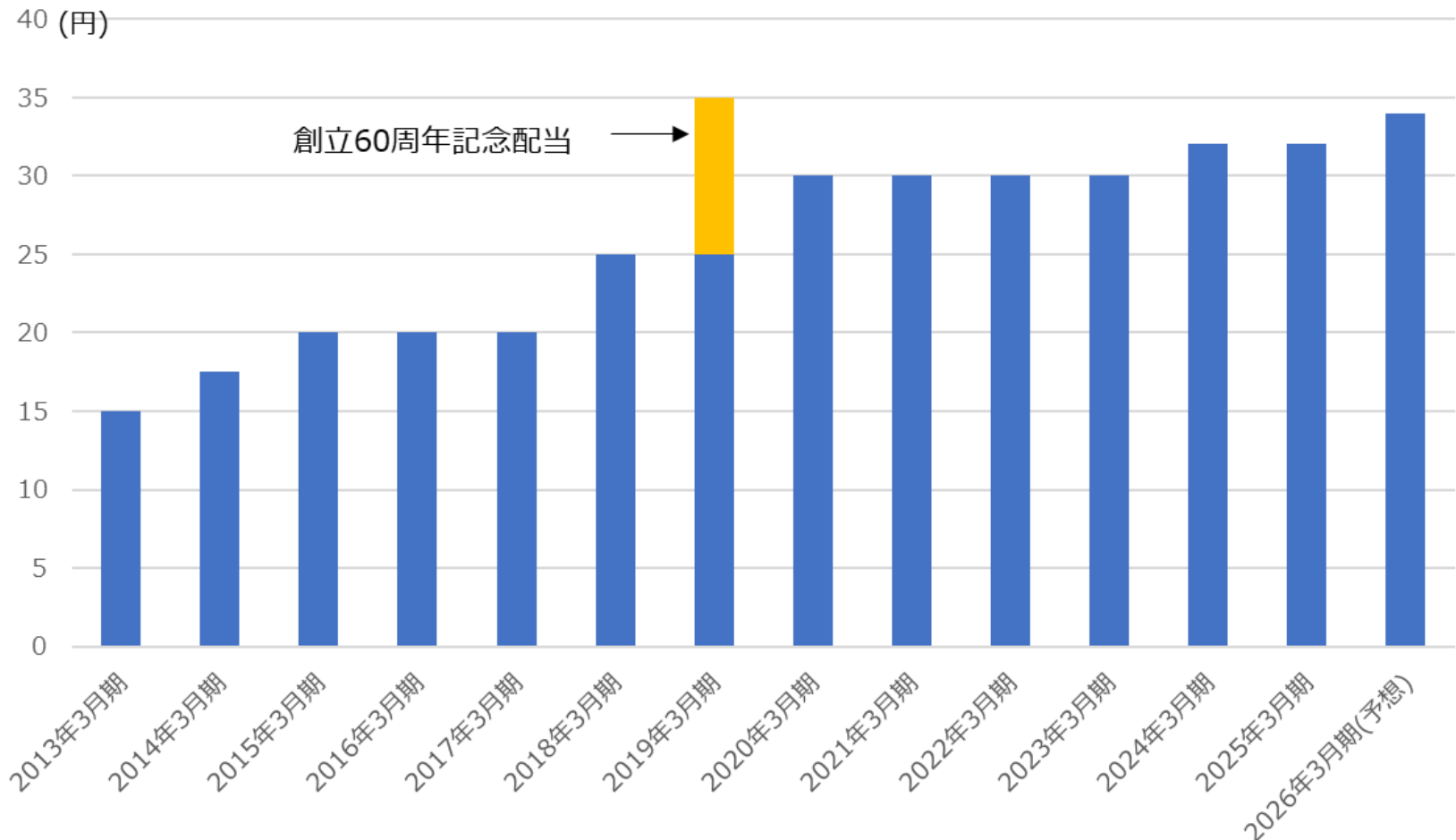
🟡 2026年3月期連結業績予想



(単位：百万円)

	2025年3月期	2026年3月期予想	増減(%)
売上高	9,083	8,900	△2.0
営業利益	547	680	+24.2
経常利益	587	680	+15.8
親会社株主に帰属する 純利益	450	60	△86.7
1株当たり純利益(円・銭)	64.21	8.55	-

1株当たり配当金の推移



- ◆ 配当につきましては、中長期的な発展をも見据え、経営的・総合的観点から、安定配当を基本に業績等を総合的に勘案して決定する方針としております。
- ◆ 2026年3月期配当は、1株当たり34円（2025年3月期比+2円）の配当を予想しております。

本資料における注記事項



本資料に記載されている、将来の業績に関する計画、見通し、戦略などは現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。

実際の業績は、様々な要素により、異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

■ IR問い合わせ ■

<https://nfhd.co.jp/form/inquiry.php>